

TIC NEWS

vol. **126**
2018.1

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>



第22回とやま国際草の根交流賞受賞者の皆様

第22回とやま国際草の根交流賞表彰式

本年11月1日、富山県庁4階大会議室において、国際交流・協力活動を草の根レベルで実践している団体、個人を表彰する“とやま国際草の根交流賞”の表彰式を行いました。

第22回とやま国際草の根交流賞受賞者の皆さま

国際交流・協力活動を草の根レベルで実践している団体、個人を表彰する“とやま国際草の根交流賞”。受賞者は以下の皆さまです。

【個人】

青海 正和 さん

富山市民国際交流協会の理事・広報組織協会委員長、同副委員長として、機関紙発行やホームページによる情報提供など国際交流・国際協力に関する啓発にご尽力されている。「国際交流フェスティバル」や「新春国際交流のつどい」などの企画運営に積極的に携わられ、指導的役割を果たされるなど、国際交流、多文化共生活動の推進に大いにご貢献いただいている。

松岡 秀子 さん

富山県日韓親善協会常任理事として、日韓両国の理解と友好を深めるため、経済、文化、スポーツ、青少年などの交流の促進にご尽力されている。また、平成12年には韓国江原道江陵文化芸術振興財団青少年ジャズ&バレエ韓国公演に合わせて、韓国の舞踊専攻学生に奨学金を給付され、以後、平成22年まで10年間で継続されるなど、国際親善に大いにご貢献いただいている。

田中 敏子 さん、田中 恵美 さん

親子で南砺ラオス会の中心的存在（敏子さんは青年女性部員、恵美さんは青年女性部長）として、南砺ラオス会の設立、及びラオスとの交流の促進にご尽力されている。長年にわたり、ラオスの教員、研修生、留学生等を積極的に受け入れられるとともに、ラオス訪問団の派遣にあたって女性参加者の募集を行われるなど、ラオスとの友好交流の拡大に大いにご貢献いただいている。

山辺 知代 さん

海外から多くの出演者を招く「とやま舞台芸術祭」の「とやまこども芸術活動支援協議会」のボランティアスタッフ、副会長、会長として、出演者の子供達を手厚くもてなされ、公演を成功裡に導かれるとともに、「とやま世界こども舞台芸術祭」では、国内外からの参加者を母親の視点で迎えるボランティアのとりまとめ役である登録部長として組織を束ねられるなど、国際交流の促進に大いにご貢献いただいている。

【団体】

Earth Moving 実行委員会

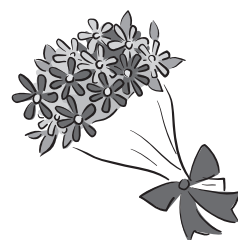
委員長 吉川 忠久

ボランティアスタッフで構成するEarth Moving実行委員会は、毎年3月にワールドフェスティバル「Earth Moving」を開催され、地域住民に対して、海外の芸術文化等の紹介、国際的な芸術文化への関心の高揚、自国文化の再発見の機会提供等をお図りになり、国際相互理解、国際交流、芸術文化の振興や地域間交流の促進に大いにご貢献いただいている。

朝日町日中友好協会

会長 角丸 貴之

朝日町日中友好協会は、地域住民に対する中国語教室、中国料理教室、唐詩教室等や、在日中国人に対する日本料理教室、伝統行事体験等を実施されているほか、平成28年には、朝日町実施の民泊事業において多くの中国の高校生を積極的にお受け入れになるなど、地域住民と中国との間の交流の促進と多文化共生社会の形成の推進に大いにご貢献いただいている。



平成29年度外国人のための日本語ボランティア養成講座

【高岡】

日時：平成29年8月26日(土)～10月28日(土)

全5回 10:30～12:30

会場：高岡市国際交流センター

講師：日本語教育機関 トヤマ・ヤポニカ

【黒部】

日時：平成29年11月11日(土)～12月16日(土)

全5回 10:00～12:00

会場：黒部国際文化センター コラーレ

講師：日本語教育機関 トヤマ・ヤポニカ



地域の日本語教室で外国人の日本語学習を支援するボランティアを育成することを目的として、平成10年から開催している「外国人のための日本語ボランティア養成講座」。20回目を迎えた今年度は、高岡市と黒部市の2会場で実施しました。

全5回からなる講座では、地域に住む外国人住民が日常生活でどのような悩みを抱えているかなどを理解することからはじまり、日本語学習支援に必要な知識や心構え、対話を中心にした活動のスキル等を身につけていきました。さらに実習では、地域で活動している日本語教室のボランティアや外国人学習者とともに、実際の「対話活動」を体験。講座を通して、相互理解を深め地域のコミュニティを活性化していく大切さを学びました。

講座を修了された受講生のなかには、早速、地域の日本語教室の活動に参加され、身近な外国人の日本語学習支援に携わられる人もいます。

国際交流フェスティバル2017

日時：平成29年11月12日(日) 10:30～16:30

場所：富山駅自由通路・富山駅前CiCビル内(1, 3F)

主催：国際交流フェスティバル2017実行委員会

共催：富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA北陸

「異文化理解と交流」を深めることを目的に、21回目となる今年度は、昨年度から引き続き富山駅構内とCiCビルとの2会場で開催されました。

富山駅会場では、各国紹介で始まり、国際交流団体と各国紹介ブースが設けられました。

CiCビル会場では、ワールド・ゲーム大会でステージが始まり、インドのダンス、国際交流団体の活動紹介やバザー、民族衣装や和服、甲冑の試着体験などがありました。ワールド・ゲーム大会では、インド、韓国、中国、アメリカ、ブラジルの伝統的な遊びを9カ国からの参加者が競い、大いに来場者を沸かせました。フィリピン出身のアンヘレス・ジャン・ヒーダー・ジェモトさんが優勝されました。

当日は約6,000人の人出でにぎわいました。



深まる富山との交流

日本タイ修好130周年にあたる本年、両国政府の協力のもと、日本からタイに向けて大規模な経済ミッションの派遣が行われました。

富山県企業に関しては、中国に次いで2番目に多い53社、73事業所がタイに進出しており、重要なビジネスのパートナーとなっています。

富山県は9月21日から10月4日までタイの百貨店で富山の伝統工芸品の展示会を開きました。所得水準が上昇し、富裕層も増加しているタイに新たな販路を開拓することが狙いです。

2016年の富山県における外国人宿泊者数は最多の22万人を記録しましたが、うちタイは前年比7.3%増の1万2,072人となりました。

宇奈月温泉のホテルにおいても、タイや台湾の大学から長期インターンシップ生を受け入れており、日本のおもてなし文化や習慣を学ぶなど、人的交流も盛んに行われています。



タイ王国 基本情報
首都：バンコク
面積：51.4万 km²
人口：6,572万人



アユタヤ王朝の遺跡群

微笑みの国 タイを知りタイ！

タイは、アセアン諸国の中では、一人当たりのGDPがシンガポール、ブルネイ、マレーシアに続き4位の5,908米ドル、貿易総額はシンガポールに続き2位の4,096億米ドル、また、訪問観光客は年間およそ3,000万人となっており、観光が主要な産業となっています。

アセアン諸国への日本の直接投資の中で、タイはシンガポールに次ぐ19%を占め、人的交流も双方向においてタイがアセアンの中ではトップを占めています。

これからますます交流が期待されるタイと日本。そんなタイの魅力に迫ります！

アセアン講座 第2回 ～タイ～

「グローバル時代のタイと日本」

日時：平成29年11月19日(日) 場所：(公財)とやま国際センター研修室

講師：宇戸 清治 氏 (東京外国語大学名誉教授)

アセアン諸国について理解を深めることを目的に、昨年度から開催しているアセアン講座。第2回となる今年度の講座は、タイ語、タイ文学等をご専門とされ、「東南アジア文学への招待」「デイリー日タイ英・タイ日英辞典」など著書も多数執筆されている、東京外国語大学の宇戸清治名誉教授を講師としてお迎えし、「グローバル時代のタイと日本」と題してご講義いただきました。

フィールドワーク等で年に数回はタイに長期滞在されるという宇戸先生には、現在のバンコクを中心としたタイの日常生活の様子をたくさんさんのスライドで紹介いただきました。

中国に次ぐ重要なサプライチェーンとして成長したタイ。モダンな高層ビルが立ち並び、鉄道網は拡張し続けています。また、タイはインドシナ半島の中心に位置するため、発展し続ける東南アジア物流システムのど真ん中にも位置し、さらにその重要性が高まっています。宇戸先生は、古くは山田長政、安井てつ、三木栄などタイと縁の深い日本人の話などにも触れられ、仏教国、親日国でもあるタイと日本が、長い歴史において常に友好な関係を保ち続けてきたこともご紹介いただきました。

コンビニの総数は世界第3位、24時間利用可能なATMがいたるところにあり、日本食はもとより世界各国料理のレストランが溢れている、という街の様子に参加者には驚きの様子も。日本語の看板は街のいたるところに溢れ、コンビニでも日本語のパッケージの日本食がそのまま売られています。富裕層が増えるにつれ、国民の関心は健康や教育といったところに向いてきており、その中で健康食のイメージがある日本食に人気が高まっているとのことでした。「日本人は、自分達がアジアの中では兄貴分という考えをもっている人が多いが、むしろ日本がタイから進んで取り入れるべき部分も多い」という先生のお話に参加者は熱心に聴き入っていました。



講師の宇戸氏

“こんなこと知ってる？ タイ”

タイにまつわる面白い事実。あなたはご存じでしたか？

- ・タイという国名はタイ語でプラテート・タイといい、「自由の国」という意味である。東南アジアではヨーロッパ諸国に植民地化されなかった唯一の国。またタイというの国民の大部分であるタイ民族のことも意味する。
- ・長い歴史においてタイは主要都市の名前が国名となっていた。スコタイ、アユタヤ、トンブリー等である。1800年代から国名はタイになったりシャムになったりした。(シャムはサンスクリット語で「褐色の肌の」という意味)
- ・かつては王を含めた全てのタイ男性は20歳の誕生を日を迎える前に短期間だけでも出家した。近年は出家する男性は少なくなっている。
- ・仏教は人口の94.6%が信仰するタイ最大の宗教。イスラム教は人口の4.6%、キリスト教は0.7%、その他は0.1%。
- ・世界最小の哺乳類、体長約3cmのキティブタバコウモリはタイで発見された。
- ・タイの75%はタイ人、14%は華人、11%はその他。
- ・およそ100年前、タイ北部は広葉樹の密林で覆われていた。今日では国土の1/4のみが森林地帯となっている。タイの森林損失率はシンガポールに次ぎ2番目に高く、森林の伐採は禁じられている。
- ・バンコクの交通巡査は、大気汚染が危険なレベルにあるためフェイスマスクをしている。また警察署には酸素タンクが常備してある。バンコクの交通巡査の20%以上に肺疾患があるとされている。
- ・バンコクはかつて東洋のベニスと呼ばれた。チャオプラヤ川の水上に高床式の建物が立ち並びイメージから来たものだが、今日ではバンコクは巨大都市化し、ほとんどの運河は埋め立てられた。
- ・『王様と私』のハリウッド映画とブロードウェイミュージカルにはラーマ4世(1851～68)とその子弟の家庭教師であるアンナ・レオノーウェンズとの話が描かれているが、国王を侮辱しているとしてタイでは上映禁止になっている。映画では国王は無教養のように描かれているが、実際は様々な学問を修め、英語が堪能な最初のアジアの統治者だったとされている。
- ・燕の巣はオスのアナツバメの唾液腺の分泌物でできているが、タイの島の断崖で採取される燕の巣は1kgで約20万円するという。世界で最も高級な食材の一つである。
- ・タイの東側の国境沿いに流れるメコン川には約1,300種類の魚が住む。その中には世界最大規模の淡水魚であるメコンオオナマズも含まれ、体長は3m、体重は300kgに及ぶものもある。
- ・タイ北部は1960年代から1970年代にかけてケシの主要な栽培地であり、ケシは山岳民族にとっては貴重な収入源だった。タイ北部、ラオス西部、ミャンマー東部を結ぶ地帯は「黄金の三角地帯」と呼ばれ悪名高い麻薬の密造地帯であった。
- ・1946年にラーマ9世となったプーミポン・アドゥンヤデートの在位期間は70年に及び、世界でも稀に見る在位の長い君主であった。1927年に父親がハーバード大学に医学生として留学中にアメリカで生を受けた。ラーマ9世はスイスのローザンヌ大学で学業を修め、降雨技術等につき特許をもっている。サクソフォンを演奏し自ら作曲も行った。
- ・ランの花はタイには1,500種類以上あると言われており、タイはランの輸出国としても知られる。
- ・アメリカの国章のデザインはハクトウワシであるが、タイではガルダ(ヒンズー教、仏教に登場する伝説上の生き物)のデザインになっている。
- ・タイの人口6,572万人のうち首都バンコクに住む人口は約820万に及び、世界有数の大都市圏を形成している。
- ・タイでは体の最も重要な部位は頭だとされており、子どもであっても他人の頭を触ることは良くないこととされている。タイ人は自分より年上や偉い人の前では、敬意を払うため自分の頭の位置をより低くしようとす。



メコンオオナマズ



ガルダ

“協力隊ナビ”～JICAボランティア経験者と語ろう～毎月開催中！

“ここに来たらJICAボランティアOB・OGの体験談が聞ける！” そんな場所をご用意しました。

「JICAボランティアってどんな活動をしているの?」、「現地での生活は?」、「帰国後の進路はどんなの?」など、JICAボランティア経験者が皆さんの疑問や質問にお答えします。申込みは不要ですのでお気軽にお越しください。



協力隊ナビの様子

協力隊ナビ ～JICAボランティア経験者と語ろう～

日時：毎月第2水曜日 18：30～20：30

＊タワー111指定駐車場をご利用の場合、1台につき
300円分の駐車回数券を負担します。

会場：インテックビル（タワー111ビル）3階 会議室

主催：青年海外協力隊富山県OB会

問合せ・連絡先：JICA国際協力推進員（富山県デスク）船木 愛

TEL：076-464-6491 E-mail：jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp



今回はエクアドルから届いたシニア海外ボランティア 西野 睦子 さんからの便りをご紹介します。

エクアドルというと、観光地ならガラパゴス諸島が人気で、他にはアマゾン密林、アンデス山脈の高地など自然生態も変化に富んだ国です。赤道直下ですが、私の任地のロハは標高2,200mほどで、常春気候で過ごしやすいです。

赴任した頃は生活習慣の違いに戸惑うことも多かったのですが、家族を大切にする文化や宗教の信仰心など話しているうちに尊重したい面が多く見えてくるようになりました。

ここでの活動内容は看護プロトコルと看護マニュアルの作成支援で、同僚らと分担しながら一緒に作っています。支援したいという思いで派遣されたものの、1年経った今も助けられることばかりです。マンパワーと資金の不足、マニュアル作業が多いことは同僚らも認識していて、良い看護をしたいという思いは世界共通です。患者さんのために院内を駆け回る同僚たち、同じ看護師として共感します。



西野 睦子さん

派遣国：エクアドル

職種：看護師

派遣期間：2016年9月～2018年9月

配属先：ロハ市がん専門センター

Voices from the world

～フィリピン タギッグ市～

世界の富山ファンからのメッセージ

須藤 啓太 さん (Bibo Global Opportunity; Inc. 代表取締役CEO)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. オンライン英会話「DMM英会話」の運営をしています。「DMM英会話」はインターネットを通じてオンラインで英会話を行うサービスです。サービスを利用するユーザーは日本人なのですが、英会話を行う先生を採用・教育するために現在フィリピンに居を構え生活しています。自分の主な仕事はオンライン英会話講師の採用、教育、及び現地フィリピン法人 (Bibo Global Opportunity) の代表としての社員のマネジメントになります。

Q. 近況について教えてください。

A. フィリピンの首都、マニラから車で30分ぐらいの新興住宅街であるBGC (ボニファシオ・グローバル・シティ) というところに住んでいます。フィリピンというと「危険」なイメージが真っ先にくるかと思いますが、BGCは大変治安がよく、妻も息子 (1歳半) も安心して過ごせる街です。外国人も多く、ペットを連れてきている方も多いですね。ちなみに私も日本から犬 (チワワ) を連れてきました。愛犬も元気に過ごせる環境で大変満足しています。フィリピンの滞在はかれこれ5年ぐらいになりますが、この街が家族と一緒に住む上では一番いいなー、と思っています。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 生まれも育ちも富山です！射水市 (当時は射水郡) の小杉町で生まれ、小杉小、中学を経て高校は富山中部高校に通っていました。

今年43歳になりますが、今でも一番仲が良く頻繁に会っているのは高校時代の友人です。仕事柄世界中を飛び回ることが多いのですが、そんなときに富山の友達と会ってしゃべったりすると本当に心がやすらぎますね。またそのときに「自分はやっぱり富山県人なんだな——」と改めて感じます (笑)。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 世界のどこにいても自分の原点は富山だな、といつも思います。先日帰郷した際、新幹線も開通し、どんどん発展している一方、家族皆の変わらぬ富山弁を聞いて、「変わらぬものもいっぱいある」とわかり、底知れぬ嬉しさを感じました。これからもどこにいても富山県人としての誇りを忘れず頑張っていきます！



こんな“国際交流”やっています！

“モルドバ共和国交流フェスタ”

富山ルーマニア友好協会 (富山市)

～TICから助成した事業をご紹介します～

富山ルーマニア友好協会は、富山とルーマニアの人々の相互理解と親睦をはかり、友好関係の促進に寄与することを目的に平成19年に発足されました。これまで、ルーマニアの大学との交流、トランシルヴァニア交響楽団の招へい、ルーマニア視察旅行、ルーマニア語研修、ルーマニア料理の紹介など様々な活動を行ってこられました。

今回の交流フェスタでは、1991年に旧ソビエト連邦から独立し、言語、文化的にほとんどルーマニア人と違いはないと言われているモルドバ共和国の紹介を中心に、県内のモルドバ人、ルーマニア人と富山県民との交流を目的に企画されました。フェスタでは音楽ユニット「nono e amigos」の演奏、モルドバ料理、そして県内では珍しいモルドバ産ワインがふるまわれ、参加者はモルドバの文化を堪能しました。



Brigadeiro(ブリガディオ)

ブラジルの誕生パーティに必ずあるのが「ブリガディオ」というスイーツです。ブラジルの甘い物の定番です。名前の由来はいろいろありますが、一説によると、1940年代の大統領選挙にブラジル空軍のブリガディオ少将出馬の資金集めのために、彼を支持するサンパウロのご婦人方が編み出したスイーツだと言われています。ココアの量などはお好みでどうぞ！



～作り方～

1. 練乳とマーガリンを鍋に入れ、火にかける。(中～強火)
ここに少しずつココア粉を加え、混ぜます。
2. 生地が鍋肌から離れるまで、焦がさないようにゆっくり混ぜる。(約20分間)
3. 生地を大きめのバットにうつして、常温まで冷ます。(冷凍庫で冷ますなら15分程度)
4. 生地を直径2～3cm程度のボール状に丸める。
(手にマーガリンをつけると丸めやすい)
5. バットに敷き詰めたチョコスプレーの上に、ボール状の生地を転がし全体にまぶす。
6. 専用のカップにいれて出来上がり。



～材料～ (30個分)

練乳…………… 1缶(397g)
ココア粉…………… 20g
マーガリン(バター)…………… 20g
チョコスプレー…………… 130g

TICからのお知らせ

これからの行事予定

国際交流ひろば

第6回 インド文化の紹介

インドの歴史・文化紹介、インド映画とダンス等
1月13日(土) 14:00～16:00
環日本海交流会館 大会議室

日本語ボランティア スキルアップ研修会

1月20日(土) 13:30～15:30
環日本海交流会館 大会議室
「富山における対話中心の日本語支援教室の紹介」
家城 香織 氏(日本語教室 in 黒部代表)
「生活密着型の日本語支援を目指して」
岩田 一成 氏(聖心女子大学 准教授)

日本海シンポジウム

いま日本海で起こっていること

2月17日(土) 13:30～16:30 北日本新聞ホール
○基調報告「世界の海洋環境と日本海」
講師：レヴ・ネレティン
(NOWPAP地域調整部 調査官)
○基調講演「日本海とはどんな海」
講師：蒲生 俊敬 氏
(東京大学大気海洋研究所 名誉教授)
○パネルディスカッション
「日本海ののぞき窓ー富山湾の保全と活用ー」
モデレーター：秋道 智彌 氏
(山梨県立富士山世界遺産センター所長)
パネリスト：蒲生 俊敬 氏
(シンポジウム基調講演講師)
秦野るり子 氏
(富山国際大学現代社会学部教授)
吉田 尚郁 氏(NPEC主任研究員)

とやま外国人活躍セミナー

第6回 1月20日(土)
「外国人にとって理解が難しい日本語」
中河 和子 氏(日本語教育機関ヤポニカ 代表理事)
第7回 2月17日(土)
「とやまでもっと活躍するために、
みんなで考えましょう」
宮田 妙子 氏(NPOダイバーシティとやま代表理事)
15:00～16:30 (公財)とやま国際センター 研修室A

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくごお願い申し上げます。